三重地方最低賃金審議会
令和８年度第２回三重県輸送用機械器具製造業最低賃金専門部会
議事要旨

開催日時 開催場所	令和８年 10 月９日（金）　９時 50 分～11 時 05 分 津第二地方合同庁舎　地下共用会議室
出席状況	公益代表委員　出席３名　欠席０名 労働者代表委員　出席３名　欠席０名 使用者代表委員　出席３名　欠席０名
主要議題	（１）金額検討 （２）その他（今後の審議日程）
議事要旨	１　意見交換の前に、事務局から配付資料の説明を行った。 公益代表委員と労働者代表委員、公益代表委員と使用者代表委員に分かれて金額検討に係る意見交換が行われた。 意見交換は、非公開とした。 その後審議を再開し、労働者代表委員と使用者代表委員のそれぞれから意見交換概要の報告が行われた。 労働者代表委員からは、「輸送用機械器具製造業が県内製造業を支える基幹産業であり、今後の人材確保や技術継承のためにも特定最低賃金の果たす役割は重要である。持続的な産業発展には、働きたい・働き続けられる魅力ある産業づくりが不可欠であり、そのためには技能や責任に見合った賃金水準を示す必要がある。特定最低賃金の優位性や人材確保の観点を重視しつつ、全会一致による結論を目指して建設的な議論を進めたいとして、今回提示した金額については次回に向け再検討する。」との考えが示された。 使用者代表委員からは、「景気は緩やかに回復しているものの、経済情勢や気候変動の影響により、製造業を取り巻く環境は依然として不安定であると認識している。労務費や電力費の価格転嫁は進んでいる一方、材料費や運搬費などの上昇分は十分に転嫁できておらず、特に県内の Tier２・Tier３企業は厳しい経営状況にある。労働者側の提示額には一定の歩み寄りが見られると評価しつつも、価格転嫁の課題を踏まえ慎重な審議が必要であるとして、全会一致に向けて引き続き協議を進めたい。」との考えが示された。 ２　今後の審議日程について、 第３回　10 月 13 日（火）午後１時 30 分から、 に決定した。